

協働の まちづくり

ニュース

Vol. 19
2013.3月号



ブルーベリー苗木を植栽～塩見まちづくり協議会

日向市と宮崎大学は、近年その機能成分が注目される「ブルーベリー葉」の実証ほ場を塩見権現原に設置し栽培を始めました。今後、このほ場は、塩見まちづくり協議会が事業運営主体となって管理していくこととなります。写真は、平成24年11月25日に、日向市、宮崎大学及び塩見まちづくり協議会の共同作業にて実施したブルーベリー苗木の植栽のようです。この日は、17アールのほ場に約7,000本の苗を植え付けました。



- P 2～5 特集／新しい地域コミュニティ組織制度モデル事業
○モデル3地区・東郷地区の取り組みを振り返って
P 6 協働へのアプローチ／市民まちづくり支援事業
P 7 連載／おらが村（区長インタビュー・梶木区）
P 8 「お知らせコーナー」

新しい地域コミュニティ組織制度各まち づくり協議会役員さんに聞きました!!

~これまでの活動を振り返って、感想や抱負など~

【平岩編】

【細島編】



HOSOSHIMA
まちづくり協議会会長
三輪 優二さん

モデル事業3年間の取り組みで、細島が大きく変わろうとしている。私は人づくりが出来ればまちづくりは出来ると思っている。協議会の組織編成は、東西の太鼓台関係者を軸に結成したもので、太鼓台は担ぎ手だけでは盛り上がり、見守っているギャラリーと一緒にしてこそで、まちづくりも運営する側と地元住民の方々が一体化すれば、将来が見えてくると思う。活動は5部会の部会長を中心に順調に進められているが、来年度からは中長期計画を策定し、計画的な活動を行っていく予定である。協議会の活動財源は市から年間100万円の交付金を3年間いたが、これを細島住民一人あたりに換算すると年間約450円余りである。私は、協議会の活動はこの額以上への効果があったと自負している。

今後も協議会メンバーをはじめ、地元住民並びに多方面からのご指導ご協力をいただきながら、「歴史に潮風が香るやさらぎの港町・細島」づくりに全力投球していきたい。



平岩まちづくり
協議会会長
弓削 哲郎さん

少子・高齢化や核家族化が進み、家族間・地域間の支え合い、助け合い、絆が希薄化してきている昨今、地域で何がしかの支援ができるいかといふ意見がありました。そこで、朝市を開催してみました。そこでは、地元全員を対象としたアンケートなどでいただいた貴重なご意見を基に、事業を行つてまいりました。

協議会では、設立する前に平岩全地区で開催した地区座談会や、地区住民全員を対象としたアンケートなどで、いたいたい貴重なご意見を基に、事業を行つてまいりました。

例え、「新鮮な野菜、魚が豊富。花栽培が盛ん。日曜市の開催」といふ意見がありました。そこで、朝市を開催してみました。そこでは、地元の生産者の元気だけでなく、人との出会い・ふれあい、交流の場で親睦が生まれ、暖かいが創出されました。

今後も、皆さんが「今一步、踏み出す勇気」を持って協議会活動に関与し、「安心・安全で住みよいまち住んで良かったと思える平岩づくり」を目指して、一緒にまちづくりを推進していくたらと思います。



教育・文化委員長
兼事務局次長
甲斐 敏彦さん



生活環境・
地域安全委員長
児玉 達三さん

「感謝」の反意語は「あたりまえ」だそうです。一人することには限りがありますが、人が集まることによってできることが大きさを感じました。私はまちづくりに関わることが出来て、改めて感謝する心を持つことが出来ました。

ありがとうございました。

「平岩って素敵だね」と言われるようになります。

「平岩って素敵だね」と言われるようになります。

ようになります。

新しい地域コミュニティ組織制度各まち ~これまでの活動を振り返って、感謝や抱負など~

【東郷編】

【塩見編】

塩見まちづくり協議会も発足3年目を迎え、少しずつではありますが地域の方々に浸透してきたように感じられます。

昨年、日向市より農村交流館（旧農婦人の家）の指定管理を受け、活動においても塩見の歴史の新たな発見や他の地域に自慢できる食の発見と広がりを見せた一年となりました。

また、遊休農地の解消として、日向市と宮崎大学のご協力をいただき、ブルーベリー葉の試験栽培も取り組み始めたところでもあります。

協議会を立ち上げてまだ3年です。これからもどんどん地域に入っていく、また、地域の方々の協力をいたきながら、この塩見地区を元気に盛り上げていきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

協議会準備会が準備に大変ご苦労していただけた時期、まちづくりについて他人事のように考えていました。設立後、会長という重責を務めることになり、役員や各部会の皆様の協力で『東郷まちづくり』を進めることができました。

協議会が発足して7か月経過し、活動実績について、まちづくりに関心のある皆様には、5部会の活動を認めて頂けると思います。

『牧水の里の夏祭り』『秋祭り』では、実行委員会の努力は勿論ですが、前日準備の除草作業等のボランティアや、発生ごみの分別等に、参加頂いた各地区のごみ減量化推進員のご協力により、市民参加のイベントに成長したと感じています。

春には『つつじ祭り』を計画、実行委員会が立ち上げられようとしています。

賑やかな祭りにするには、東郷の皆様の参加協力が必要です。祭りへんと語った夢の実現に一歩一歩近づくよう、一体となつて活動して参ります。

塩見まちづくり協議会会員として成長したと感じています。

春には『つつじ祭り』を計画、実行委員会が立ち上げられようとしています。



小川 澄雄さん
協議会会長



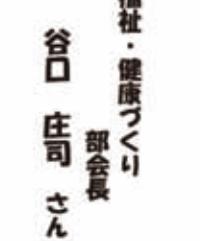
川越 洋さん
副会長



木村 孝太郎さん
事務局長



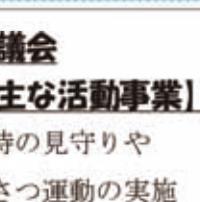
直野 あつみさん
生活環境部会長



谷口 庄司さん
福祉・健康づくり部会長



福良 信一さん
文化・広報部会長



小田 貴広さん
地域産業部会長

【東郷まちづくり協議会 ～主な活動事業～】	
①児童・生徒の登下校時の見守りや あいさつ運動の実施	まち協の情報発信として、親しみやすい会報「絆」の発行に力を入れて取り組んでいます。原動力は、幅広い年代層で構成されたスタッフのチームワークです。
②通学路調査の実施及び標識作成	まちが活気づくと人が元気になる、健康になる、住み良くなる。住んでいる僕達が何を実行していくべきかを考え、模索する。楽しく皆さんも参加してみませんか。
③まち歩きを行い、生活環境調査を実施	まち歩きを行って、地域の資源を活用して、地域活性化につなげます。
④黄色い旗運動の実施	黄色い旗運動を実施して、地域活性化につなげます。
⑤牧水公園にひまわりを植栽	牧水公園にひまわりを植栽して、地域活性化につなげます。
⑥文化講演会の実施、会報「絆」の発行	文化講演会の実施、会報「絆」の発行して、地域活性化につなげます。

づくり協議会役員さんに聞きました！！ 返って、感想や抱負など～

塩見まちづくり協議会も発足3年目を迎え、少しずつではありますが地域の方々に浸透してきたように感じられます。

昨年、日向市より農村交流館（旧農婦人の家）の指定管理を受け、活動においても塩見の歴史の新たな発見や他の地域に自慢できる食の発見と広がりを見せた一年となりました。

また、遊休農地の解消として、日向市と宮崎大学のご協力をいただき、ブルーベリー葉の試験栽培も取り組み始めたところでもあります。

塩見まちづくりに携わって普段では経験できない出会いや感動、気づきがありました。これからも、塩見にいることを誇りに思い、一歩ずつ取り組みを進めていきます。

塩見まちづくりに携わって普段では経験できない出会いや感動、気づきがありました。これからも、塩見にいることを誇りに思い、一歩ずつ取り組みを進めていきます。

塩見まちづくりに携わって普段では経験できない出会いや感動、気づきがありました。これからも、塩見にいることを誇りに思い、一歩ずつ取り組みを進めていきます。

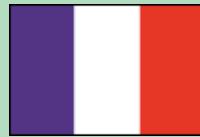
塩見まちづくり協議会も発足3年目を迎え、少しずつではありますが地域の方々に浸透してきたように感じられます。

昨年、日向市より農村交流館（旧農婦人の家）の指定管理を受け、活動においても塩見の歴史の新たな発見や他の地域に自慢できる食の発見と広がりを見せた一年となりました。

また、遊休農地の解消として、日向市と宮崎大学のご協力をいただき、ブル



ワインとクイズで異文化理解・国際交流!! 「日向市国際交流まちづくり推進協議会」



世界5カ国のワインを味わいながら、それらの国に関するトリビア（雑学）クイズに答えて、異文化理解、国際交流を深めていただくことを目的に「ワールド・ワイン&トリビア・ナイト」が2月2日（土）、市文化交流センター小ホールで開催されました。

当日は、約80人の市民の皆さんと県内在住の外国人の皆さんが参加し、カナダ・アメリカ・フランス・ドイツ・ポルトガルの「歴史」や「地理」、「習慣」などといったジャンルのクイズに挑戦しました。

会場は、終始とても和やかな雰囲気でクイズによる異文化理解はもとより、参加者同士の交流も深められました。

日向市国際交流まちづくり協議会では、これからも市民の皆さんが楽しみながら異文化理解・国際交流を深めることのできる事業等を計画していきます。

日向市国際交流まちづくり推進協議会
【事務局：市役所市民協働課内】TEL52-2111（内線6251）



日向市ひまわり基金事業推進協議会市民活動団体リーダー養成事業 第7期受講生募集!!

日向市ひまわり基金事業推進協議会では、市内における公益的活動を担う人材の育成を目的に、日向市市民活動団体リーダー養成事業の第7期受講生を募集します。あなたもまちづくりについて楽しく学びませんか？

■実施期間 平成25年6月～平成27年3月（2ヶ年）
■応募資格 市内に在住または勤務している人、もしくは市内の市民活動団体に所属している人で、事業期間中講座に積極的に参加できる方。

■募集人数 15名
■受講費用 無料
■受付期間 平成25年3月1日（金）～5月31日（金）
(定員になり次第、受付を終了させていただきます)

■内 容

【1年目】

- ①市内外において、各分野（地域づくり・福祉・観光・医療等）で市民活動を展開されている団体のリーダーによる講話
- ②市民活動の現場視察または先進地視察研修
- ③受講生同士による意見交換

【2年目】

- ①1年目で学んだことの振り返り、ワークショップ
- ②年間テーマの決定・先進地視察研修

③研修報告等の実施

■申し込み先

日向市市民協働課 TEL52-2111（内線6251）

日向市全市公園化事業補助金 沿道や公園等の緑化を推進します!!

市では、日向市全域を公園・憩いの場として捉え、市民の皆さんとともに、緑豊かな美しい都市の形成を図る「全市公園化事業」を推進するため、日向市全市公園化事業補助金を交付しています。助成の対象となる方は、緑化を推進する個人及び団体で、補助内容は以下のとおりです。

①生垣植栽事業

国道、県道、市道に隣接する生垣にかかる樹木の植栽
※補助額 個人3万円 団体5万円（いずれも上限額）

②沿道修景事業

沿道修景に寄与する国道、県道、市道に隣接する農地及び空き地にかかる樹木及び花の植栽
※補助額 個人3万円 団体5万円（いずれも上限額）

③公園等緑化事業

私設公園（市民へ無料開放するものに限る。）の緑化整備等
※補助額 個人、団体ともに10万円（上限額）

補助対象費用は、樹木の苗・花の種子（球根）の購入費用です。
事業について、興味のある方は市役所市街地整備課・公園街路係までお気軽にご連絡下さい。

（TEL0982-52-2111）
内 線 2612・2714

写真は、平成24年度に実施した北町1区の「おかめ桜」植栽の様子です。



詳しくは「協働のまちづくり」ホームページをご覧ください！

日向市 協働のまちづくり

検索